

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】令和5年7月26日(2023.7.26)

【国際公開番号】WO2023/276688

【出願番号】特願2023-531783(P2023-531783)

【国際特許分類】

C 22 C 21/00(2006.01)

C 22 C 21/06(2006.01)

C 22 F 1/047(2006.01)

C 22 F 1/00(2006.01)

C 22 F 1/04(2006.01)

10

【F I】

C 22 C 21/00 M

C 22 C 21/06

C 22 F 1/047

C 22 F 1/00 604

C 22 F 1/00 613

C 22 F 1/00 622

C 22 F 1/00 630A

20

C 22 F 1/00 630K

C 22 F 1/00 682

C 22 F 1/00 683

C 22 F 1/00 685Z

C 22 F 1/00 686A

C 22 F 1/00 691A

C 22 F 1/00 691B

C 22 F 1/00 691C

C 22 F 1/00 692A

C 22 F 1/00 694A

30

C 22 F 1/04 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年7月7日(2023.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

40

【請求項1】

S i : 0 . 1 質量 % 以上 0 . 5 質量 % 以下、 F e : 0 . 2 質量 % 以上 2 . 0 質量 % 以下、 M g : 0 . 10 質量 % 以上 1 . 5 質量 % 以下を含有し、残部が A 1 と不可避不純物からなる組成を有し、後方散乱電子回折法により測定される単位面積あたりの大角粒界の長さ L 1 と小角粒界の長さ L 2 の比が、 L 1 / L 2 > 3 . 0 を満たすことを特徴とするアルミニウム合金箔。

【請求項2】

表面に 5 . 0 原子 % 以上の M g を含み、且つ酸化皮膜厚さが 80 以上であることを特徴とする請求項1に記載のアルミニウム合金箔。

【請求項3】

50

集合組織の C o p p e r 方位、 R 方位のそれぞれの方位密度が 1 5 以下であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のアルミニウム合金箔。

【請求項 4】

前記不可避不純物として M n : 0 . 1 質量 % 以下を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のアルミニウム合金箔。

【請求項 5】

引張強さが 1 1 0 M P a 以上 1 8 0 M P a 以下、伸びが 1 0 % 以上であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のアルミニウム合金箔。

【請求項 6】

平均結晶粒径が 2 5 μ m 以下であることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のアルミニウム合金箔。 10

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

すなわち、本発明の第 1 の態様は、 S i : 0 . 1 質量 % 以上 0 . 5 質量 % 以下、 F e : 0 . 2 質量 % 以上 2 . 0 質量 % 以下、 M g : 0 . 1 0 質量 % 以上 1 . 5 質量 % 以下を含有し、残部が A l と不可避不純物からなる組成を有し、後方散乱電子回折法により測定される単位面積あたりの大角粒界の長さ L 1 と小角粒界の長さ L 2 の比が、 L 1 / L 2 > 3 . 0 を満たすことを特徴とするアルミニウム合金箔である。 20